

【令和 5 年度】第 1 回 生きることの包括的な支援に関するアンケート

回答期間と回答率

・回答期間

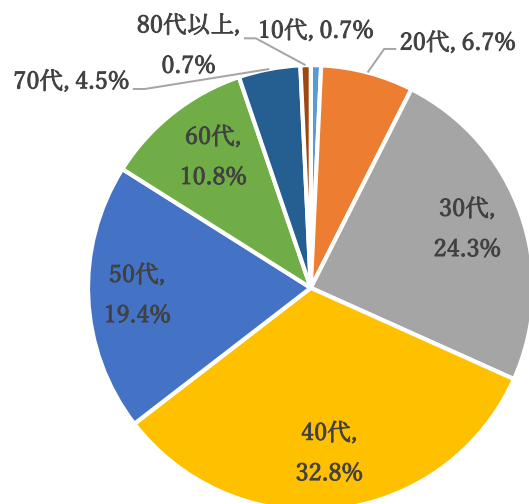
令和 5 年 8 月 9 日から令和 5 年 8 月 23 日まで(15 日間)

・有効回答数

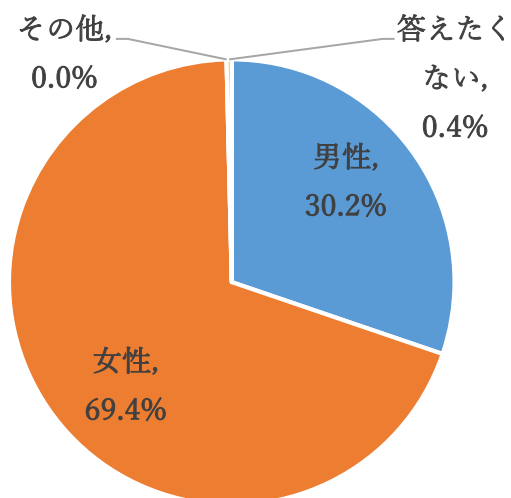
268 名（令和 5 年度 8 月 9 日時点の e モニター 485 名中）

問 1 あなたのことについて

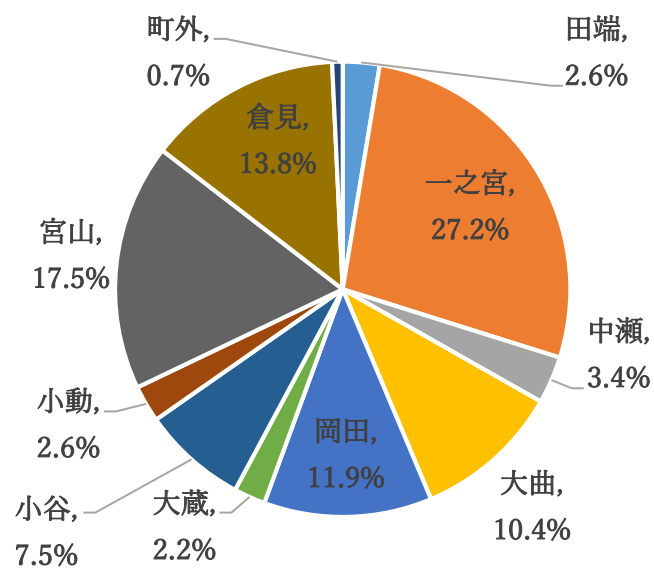
6.年齢(年代)



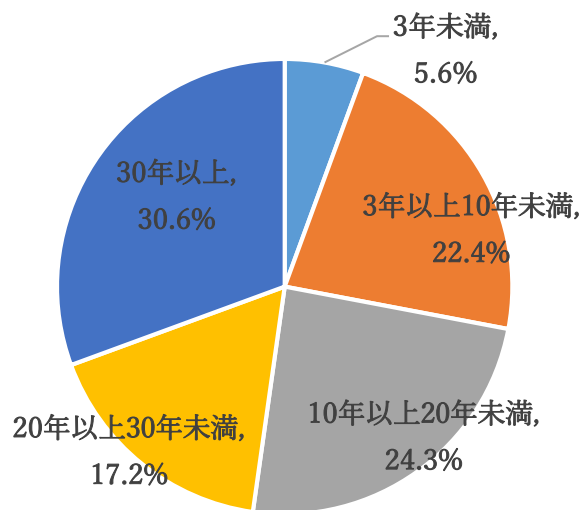
7.性別



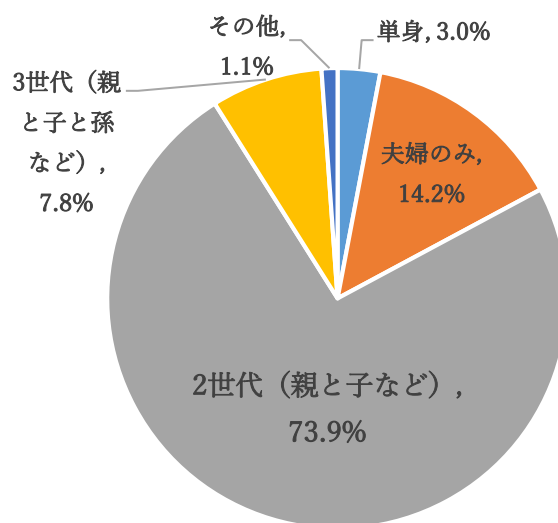
8. お住まいの地域



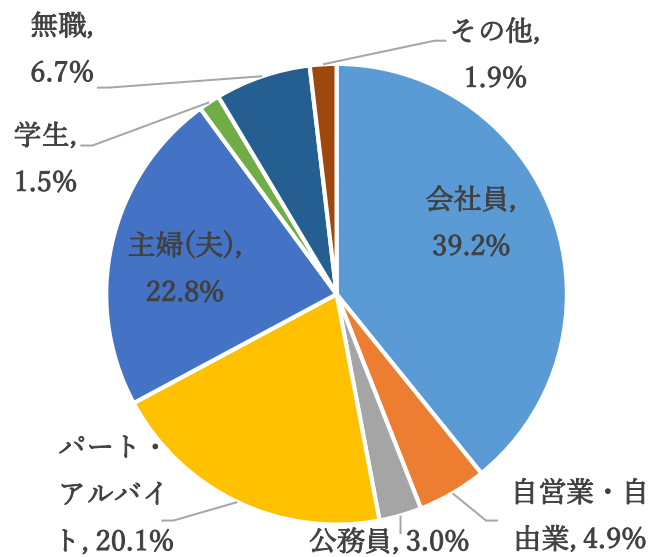
9. あなたの寒川町での居住年数について、あてはまるものを一つ選んでください。



10.あなたの家庭構成について、あてはあてはまるものを1つ選んでください。

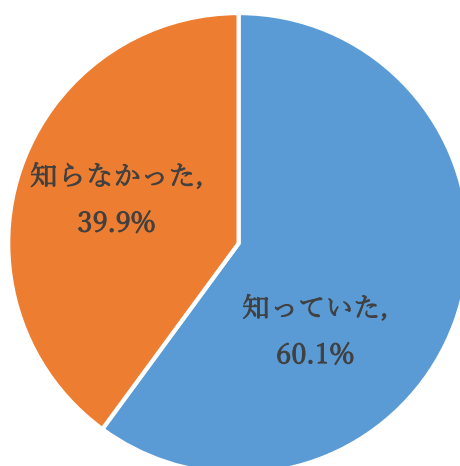


11.職業



問2 自殺対策や相談先などについて

1.日本の自殺者数は毎年2万人を超え、主要先進国の中で最も高い状況となっています。このような自殺の現状について、知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

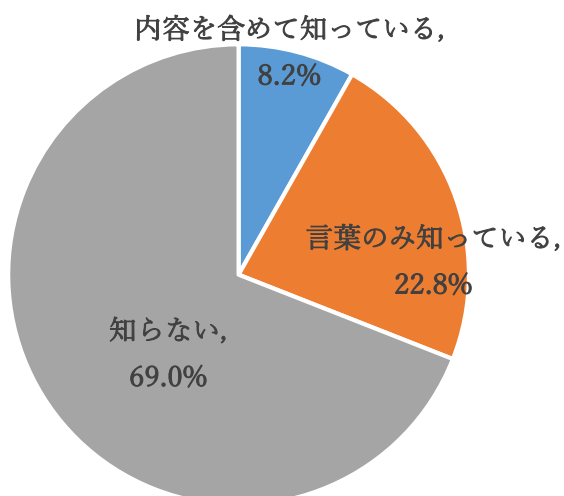


2. 悩みを抱えた

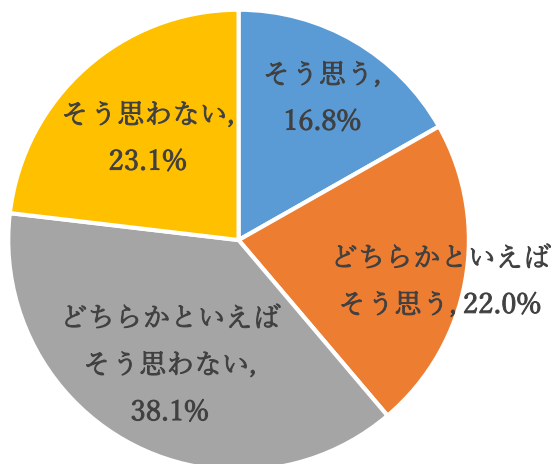
人を支援するた

めに活動するゲートキーパー(※1)について知っていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

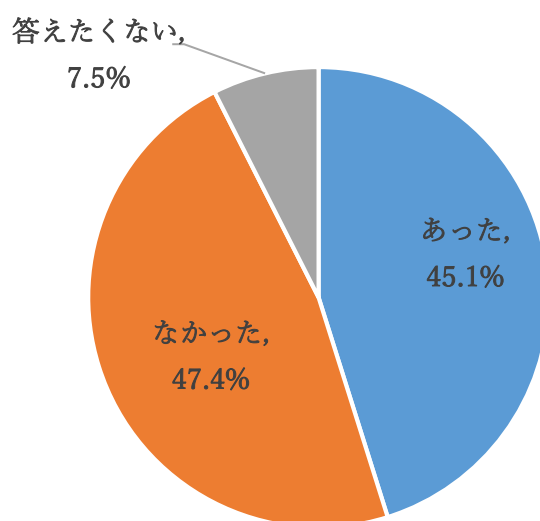
※1 ゲートキーパー：地域や職場、教育、その他様々な分野において、身近な人の自殺のサインに気づき、その人の話を受け止め、必要に応じて、専門相談機関につなぐなどの役割が期待される人のことです。



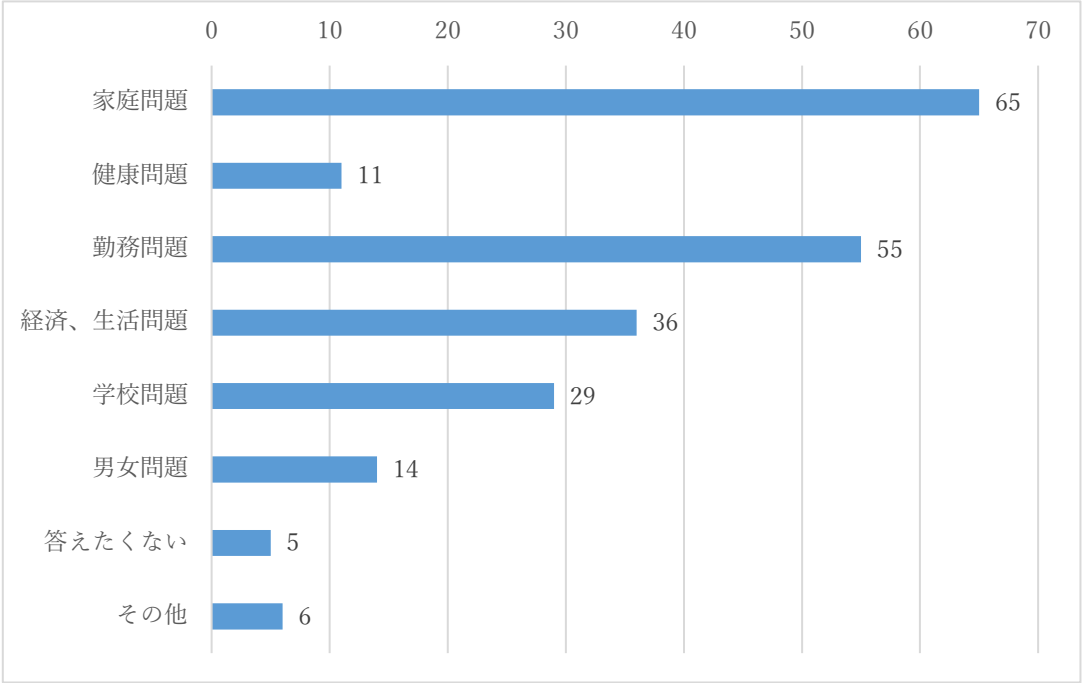
3.自殺は自分自身に関わることだと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。



4.今までに、深刻に生きづらさを感じたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



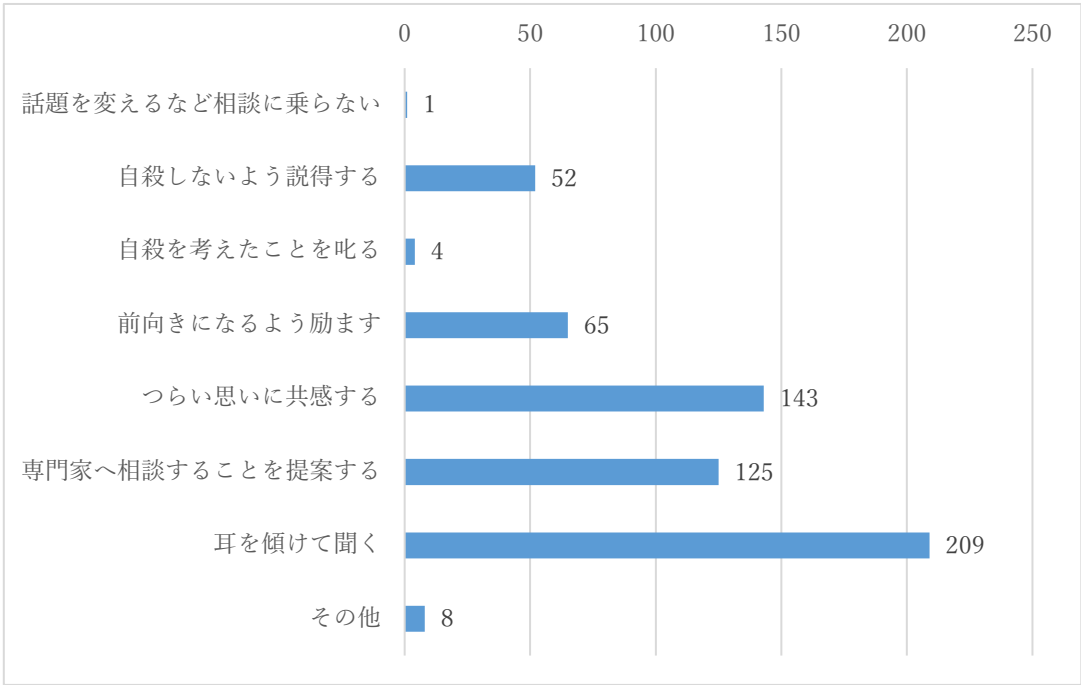
5.4で「あった」を選んだ方へお聞きします。生きづらさを感じた理由や原因はどのようなことでしたか。あてはまるもの全て選んでください。



【その他】内訳

産後。
健康や他のことが色々重なり過ぎた時。
働きながらの育児。
他人との関係のつくり方、孤独感。
趣味の関連。
社会問題。

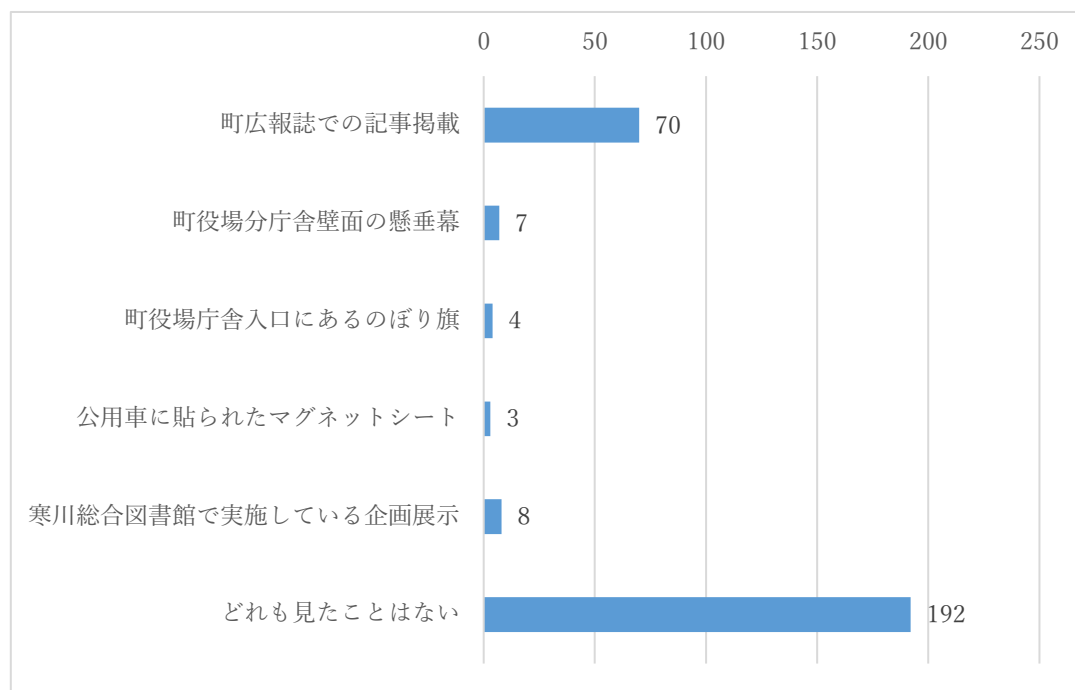
6.もし、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どのような対応を取りますか。あてはまるものを全て選んでください。



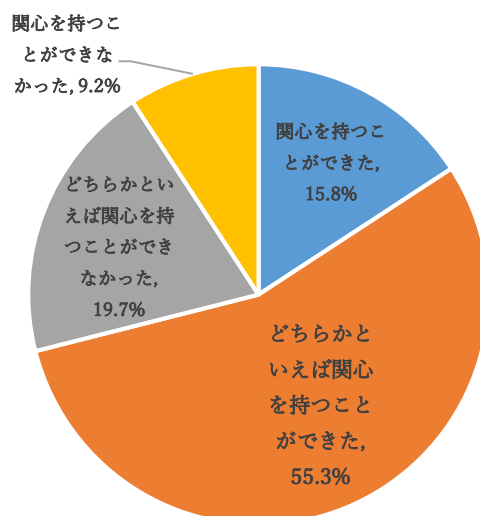
【その他】内訳

まず 打ち明けてくれたことに対して「話してくれてありがとう」という。
何で死にたいのかをゆっくり聞いて、どうせ死ぬなら死ぬ前にやるだけのことをやるよう伝える。
病院へ行くよう勧める。
専門家に相談する事をその方に提案はしませんが、自分自身が専門家に相談します。
過去の自分の話をする。
1人にさせないようにまわりの人にも協力してもらう。
他の方の意見も求める。
一方的に自殺をしないよう、又は前向きになる様な励ましをするのではなく、まずは相手の話をよく聞き、共感、理解、そして寄り添う形を継続していく必要があり、その様にしていきたいと思います。

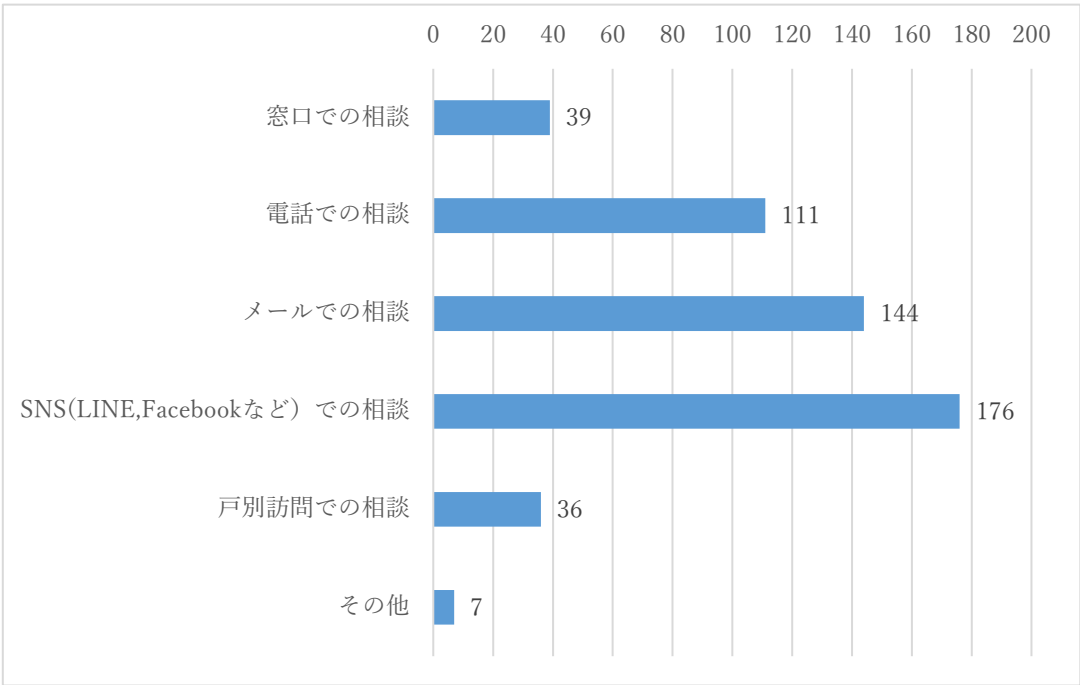
7.国では自殺予防週間(9月10日～16日)と自殺対策強化月間(3月)を設けています。これら期間に町が実施している次の自殺予防に関する啓発をご覧になったことはありますか。あてはまるものを全て選んでください。



8.7で「どれも見たことはない」以外を選んだ方へお聞きします。取組により自殺予防に対して関心を持つことができましたか。あてはまるものを1つ選んでください。



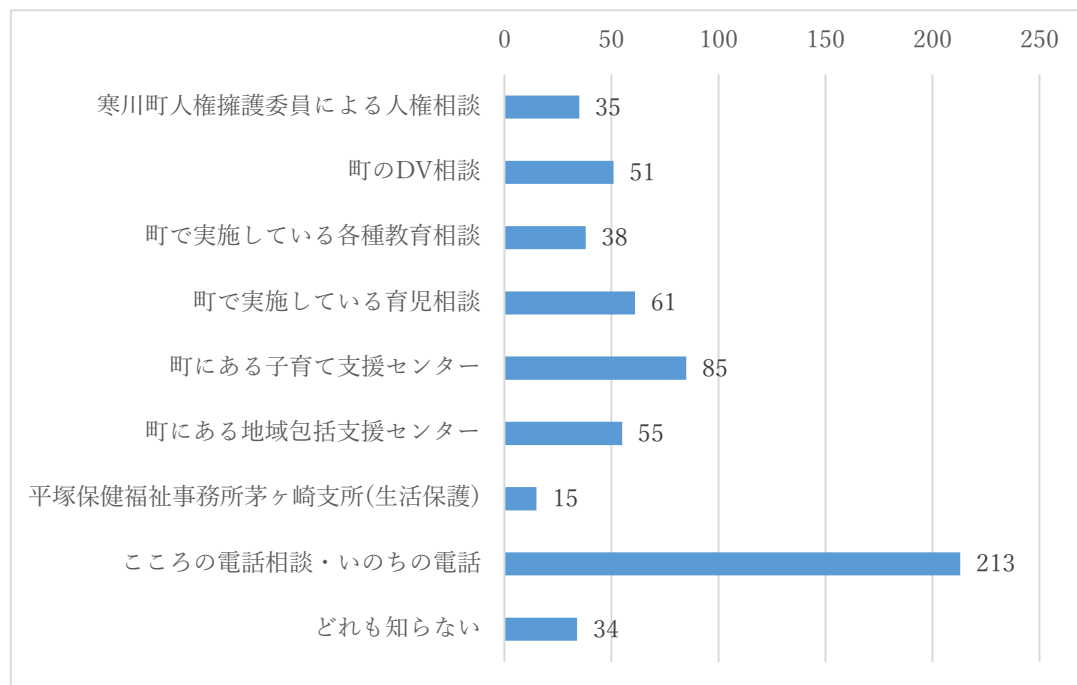
9.自殺をしようと思うほど悩んでいるときに相談しやすいと思う方法はありますか。あてはまるもの全て選んでください。



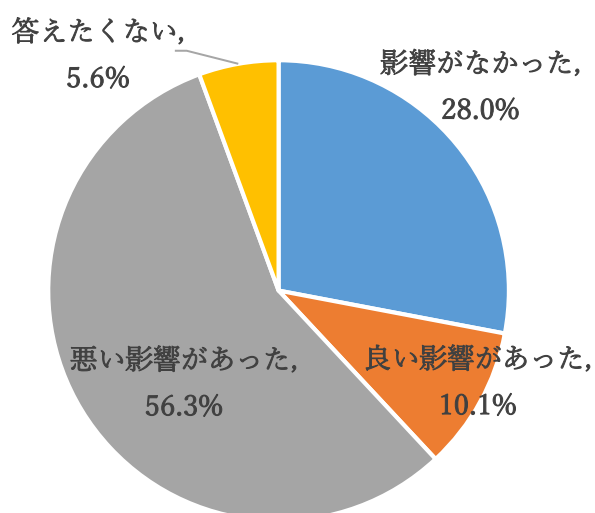
【その他】内訳

同じ思いをした境遇が似た人々とのつながり。
わかりません。
小さいことも大きなことも相談するタイプではないので、相談するくらいなら本気ではないと思う。
相談したくない。
そのような時は自分から相談するのは難しいのかも。
匿名で相談できる事。
相談回数を重ねていけば窓口等、対面での方法も考えられると思います。

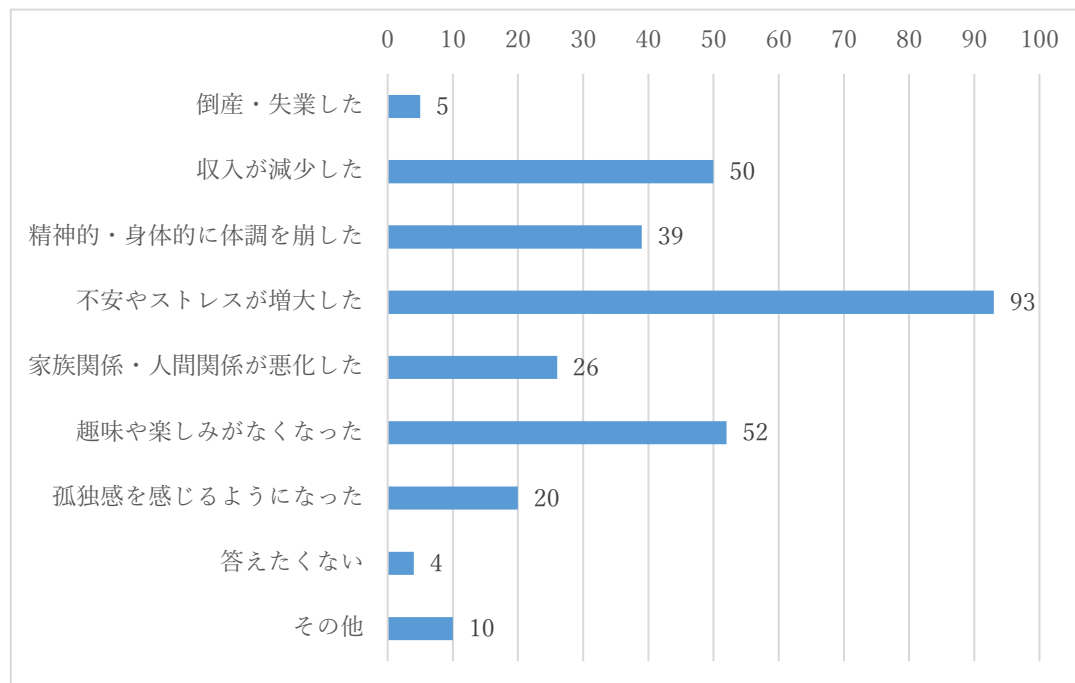
10.次の選択肢記載の自殺に関する相談機関や窓口について知っていますか。あてはまるものを全て選んでください。



11.新型コロナウイルス感染拡大により、生活への影響があったかどうかについて、あてはまるものを1つ選んでください。



12.11で「悪い影響があった」を選んだ方へお聞きします。具体的にどのような影響がありましたか。あてはまるもの全て選んでください。



【その他】内訳

子どもの大学がリモートになり、生活リズムが狂いやる気がなくなってしまった。
飲食業、観光業などで働く友人が大きく影響を受け悩んでいたことに私自身も影響を受けた。
感染対策の徹底。
外出控えにより、足腰の筋力低下、体力の低下が発生した。
体調を崩しても、風邪等（熱・喉の痛み）の症状があればすぐに病院にかかれず、病状が悪化したこともあった。
人との繋がりが希薄になった 何処にいても不要と思われるマスクをしていて表情が分からなくなり対人不安が増加した。
感染して有給休暇を消費した。
コロナ禍での2回の出産、立会い出産もできず、生まれてもしばらくは親族に会えないなど。
パートナーとの価値観の相違が顕著になった。
会社の業績に影響（減少）があった。マスクや抗原検査キット、その他予防のための備品の購入などで出費が増えた。自分のことよりも子供たちの健康の心配、教育に関する制限など、心配事が増えた。